

後期基本計画成果指標等設定根拠

・・・第4回審議会資料から、変更もしくは追加された目標値

参考資料1

第1章 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり

施策1-1 活力ある商工業の振興

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
+	付加価値額(注1)	H25	1,303	億円	1,306	1,132	1,084	-	-	-	-	-	商工課	指標変更	製造品出荷額等を5,500億円、付加価値率を過去10年間の平均(21.2%)からの向上として25%を目標と想定。	統計データ公表項目の変更により、数値抽出が難しくなったため。
1	付加価値額(注1)	-	-	億円	-	1,273	1,219	1,057	1,290	-	1,400	商工課				
+	山形大学の市内企業との共同・受託研究数	H26	28	社	42	-	27	20	25	14	-	商工課	指標変更	単年度表記から、延件数表記に変更(年度ごとのばらつきがあるため、延表記に変更)	年平均20件の新規共同研究契約を見込む。	
2	山形大学の市内企業との共同・受託研究数(延べ)	-	-	社	-	27(単年度)	20(単年度)	25(単年度)	14(単年度)	-	100(R3~R7累計)	商工課				
3	米沢八幡原中核工業団地利用率(注2)	H26	90.9	%	91.8	-	91.8	92.7	92.7	93.7	95.1	99.2	商工課	継続	年1区画の分譲(八幡原2区画、オフィス・アルカディア4区画、計6区画)を見込む。	
4	米沢オフィス・アルカディア利用率	H26	43.9	%	56.6	-	50.2	57.7	75.8	77.7	77.7	84.3	商工課	継続		
5	創業支援等事業計画に基づく創業者数	-	-	人	-	-	-	-	-	24(単年度)	-	120(R3~R7累計)	商工課	新規	年平均24人の創業者を見込む。	
6	TEAM NEXT YONEZAWA登録件数	R1	159	件	-	-	-	-	-	-	159	340	米沢ブランド戦略課	新規	年間約30件の登録件数増加を見込む。	

(注1) 従業者30人以上の事業所によるもの

(注1) 従業者4人以上の事業所によるもの(従業者29人以下は粗付加価値額)

(注2) 利用率とは、利用面積/総面積で算出される面積ベースでの利用割合のこと

施策1-2 自然と文化、歴史を活かす観光の振興

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	観光入込客数	H26	2,605,299	人	2,800,000	-	2,646,176	2,538,527	2,671,798	4,217,882	-	5,137,000	観光課	継続	①H30実績のうち、道の駅を含まない数値(2,517,000)について、毎年度2.5%の伸びを見込む。 ②また、道の駅米沢については、H30を基礎として、R元は15%の増、R2~3は各5%の増、R4以降は隣県等に道の駅が整備されることから横ばいと見込む。	現在の指標が、置賜地区全域であるため、米沢市単体の指標に変更。(観光客受入数だと、米沢市単体の指標なし。)
2	温泉地(宿泊・日帰り)入込数	H26	139,583	人	150,000	-	142,047	128,544	126,394	117,647	-	136,000	観光課	継続	R1に廃業した旅館のH30実績(2,180人)を基準値から差し引き、差し引き後の値を基礎として、毎年度2.5%の伸びを見込む。	
3	外国人観光客受入数(置賜地区)	H26(通年)	4,319	人	13,000	-	5,727	6,582	11,462	15,686	-	-	観光課	指標変更	基準値をH30の3,479人とし、以降は国・県の計画における伸び率に準じ、毎年20%の増加を見込む。	
3	外国人宿泊者数(注)	-	-	人	-	-	-	-	-	3,479	-	12,500	観光課			

(注) 外国人宿泊者数は、暦年(1~12月)数値

施策 1-3 消費者や時代のニーズに合った農林業の振興

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	ほ場整備事業等実施総面積	H26	3,358	ha	3,441	/	3,389	3,389	3,389	3,389	3,389	3,441	農林課	継続	農業農村整備事業管理計画の計画値に基づき設定する。	
2	認定農業者数(経営体数)	H26	275	経営体	350	/	342	349	346	332	=		農林課	廃止		総就農人口が減少する中で、認定者数増加は困難であるため。
3	地元産材を利用した公共施設数(累計)(注)	H26	5	件	7	/	7	7	8	8	9	10 (R3~R7累計)	農林課 都市整備課	継続	前期の実績を基に、後期計画期間でも同数程度の施設数を見込む。	
4	年ごとの新規就農者数(林業従事者を含む)	H26	5	人	7	/	5	5	10	24	15	50 (R3~R7累計)	農林課	継続	米沢市農業振興計画の目標値に基づき設定する。	・後期目標値から、林業従事者が入っていることを追記 ・後期目標値から、単年度表記から、延件数表記に変更(年度ごとのばらつきがあるため、延表記に変更)

(注)「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律(H22)」の施行後に地元産材を利用した公共施設の累計数

施策 1-4 安定した雇用と働きやすい環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	新規高等学校卒業求職者の就職内定率	H26	100.0	%	100.0	/	100.0	99.8	100.0	99.8		100.0	商工課	継続	新規高等学校卒業求職者全員の内定を目標として設定する。	
2	新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率	H26	75.2	%	80.2	/	73.6	73.2	74.9	72.8		79.8	商工課	継続	H30実績を基に、年間1ptずつの上昇を見込む。	
3	民間企業における障がい者雇用率	H26	1.81	%	2.00	/	1.78	1.76	1.81	1.74		2.30	商工課	継続	法定雇用率(R1.12時点でのR7予定より)	補足)後期目標値から、民間企業における雇用率であることを追記

(注)ハローワーク米沢管内各年度平均

後期基本計画成果指標等設定根拠

第2章 郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり

施策2-1 生涯にわたり学べる環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	コミュニティセンター及び置賜総合文化センターの利用者数	H26	387,403	人	400,000	/	429,655	386,169	392,724	386,285		400,000	社会教育課	継続	前期目標値を継続する。	
2	市民おもしろいなカレッジ参加者の理解度	=	=	%	80.0	/	93.0	=	=	=	=	=	社会教育課	指標変更	令和元年の満足度実績値97%を踏まえ、さらに高い数値を目標値とする。	理解度だけではなく、理解度も含めた満足度を指標とすることで、市民への成果がより明確になると考えられる。毎年、満足度98.0%を目標に事業を行う。
2	市民おもしろいなカレッジ参加者の満足度	R1	97	%	-	/					97.0	98.0	社会教育課			
3	図書貸出冊数(注)	H26	298,087	冊	450,000	/	314,697	391,976	458,206	437,898	446,008	463,000	文化課	継続	R2年度から第二期子ども読書活動推進計画が始まるため、前期目標値から3%程度の伸びを見込む。	

(注) 旧図書館H28年2月閉館/現図書館H28年7月1日開館

施策2-2 子どもたちが健やかに成長する環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	学校給食における置賜産農産物の使用割合(野菜)	H25	30.6	%	35.0	32.1	35.1	33.6	34.5	29.2		35.0	学校教育課	継続	前期計画の目標値を達成できていないため後期も同様とする。	
2	学校給食における置賜産農産物の使用割合(果物)	H25	21.0	%	30.0	23.6	22.2	22.0	26.2	18.7		30.0	学校教育課	継続	前期計画の目標値を達成できていないため後期も同様とする。	

施策2-3 誰もがスポーツに親しめる環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	スポーツ教室参加者数	H26	164	人	200	/	177	179	191	203	191	250	スポーツ課	継続	現状値(約200名)の1.25倍を見込む。	
2	総合型地域スポーツクラブ数	H26	4	クラブ	5	/	4	4	4	4	4	5	スポーツ課	継続	前期目標値を継続する。	
3	体育施設利用状況	H26	389,082	人	400,000	/	407,708	371,267	374,773	372,105		400,000	スポーツ課	継続	前期目標値を継続する。	

施策2-4 郷土の歴史を継承し、芸術文化を創造するまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	文化施設利用件数	H26	1,533	件	1,833	/	1,458	1,777	1,781	1,621		1,800	文化課	継続	団体利用者の減少を考慮し、前期目標値を修正。	/
2	市民芸術祭への参加団体数	H26	59	団体	61	/	56	61	59	62	58	65	文化課	継続	年間1件程度の増を見込む。	/
3	市指定文化財件数	H26	55	件	57	/	55	57	58	58	60	63	文化課	継続	2年で1件程度の認定を見込む。	/

施策2-5 多様な文化とつながり、交流するまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1-1	国際理解講座の受講者数(受講回数)	H26	31	回	37	/	23	30	33	43	29	50	秘書広報課	継続	毎週1回開催(年末年始とお盆は休み=約50回)し、1回当たりの参加者数を40人と見込む。	/
1-2	国際理解講座の受講者数(延べ人数)	H26	1,100	人	1,300	/	763	1,622	1,879	1,980	1,395	2,000	秘書広報課	継続		/

施策2-6 大学と連携した学園都市の推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値							後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	セカンドホーム事業累計交流組数	H26	384.0 (H20~26累計)	組	800 (H20~R2累計)	/	451 (H20~27累計)	484 (H20~28累計)	503 (H20~29累計)	532 (H20~30累計)	555 (H20~R1累計)	700 (H20~R7累計)	総合政策課	継続	過去3年の実績(年間約24組)を基に設定する。	/
2	米沢市民カレッジ受講者数	H26	47	人	80	/	52	61	57	48	30	50	総合政策課	継続	過去3年の平均値(45人)の1割増を目標とする。	/

後期基本計画成果指標等設定根拠

□・・・第4回審議会資料から、変更もしくは追加された目標値

第3章 子育てと健康長寿を支えるまちづくり

施策3-1 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	特定健診受診率	H25	30.1	%	60.0	32.6	33.5	33.0	36.5	42.7	45.2	60.0	健康課	継続	米沢市国民健康保険「第3期特定健診・特定保健指導実施計画」に定める目標値に基づき設定する。	
2	予防接種率(麻疹・風しん)	H25	93.9	%	98.0	95.7	94.7	96.6	73.9	91.5	-	健康課	廃止		予防接種(MR<風疹・麻疹>)については、A類の定期予防接種として、接種が義務化されており、また、その接種率も高く、社会的な蔓延を防止する観点からみれば初期の目的は達成されていると考えられる。このため、後期の基本計画の目標設定から除くこととする。	
3	胃がん検診受診率	H26	17.7	%	50.0	/	17.0	15.8	16.8	15.7	18.2	50.0	健康課	継続	厚生労働省「がん対策推進基本計画」に定める目標値に基づき設定する。	
	大腸がん検診受診率	H26	26.5	%	50.0	/	26.3	25.1	26.4	26.4	27.6	50.0				
	肺がん検診受診率	H26	25.7	%	50.0	/	25.2	24.1	26.3	26.7	28.2	50.0				
	子宮頸がん検診受診率	H26	29.7	%	50.0	/	27.7	26.1	27.8	27.5		50.0				
	乳がん検診受診率	H26	27.6	%	50.0	/	25.0	21.8	22.7	24.0		50.0				
4	健康教室受講者数	H25	1,175	人	2,000	1,275	3,830	3,201	4,617	4,198	=	健康課	指標変更	H30実績の1.5倍を目標に設定する。	健康教室受講者数については、米沢市衛生組合連合会による健康教室や地域における各種サロンや出前講座等の参加者を目標値としていたが、平成27年度から健診結果説明会時において、保健師及び管理栄養士による健康講話の受講者を健康教室の受講者として取り扱うこととしたため、実績が大幅に増加した。健診結果説明会は今後とも継続することとしており、健診受診者の数がそのまま、実績の取り扱いとなるため、目標値として掲載するのではなく、目標値としてより適切と思われる後期高齢者健康診査受診者数を目標値として新たに設定することとした。	
4	後期高齢者健康診査受診者数	-	-	人	-	/	/	/	/	1,542	1,604	2,300	健康課			

施策3-2 安心して生み育てることができるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	保育所・認定こども園(2号認定(注1))利用定員数	H26	655	人	970	/	747	775	950	968	1,082	1,171	こども課	継続	第2期子ども・子育て支援事業計画に基づく目標値に基づき設定する。	
2	保育所・認定こども園等(3号認定(注2))利用定員数	H26	705	人	806	/	703	735	803	836	847	847	こども課	継続	第2期子ども・子育て支援事業計画に基づく目標値に基づき設定する。	
3	認定こども園への移行施設数	H26	0	箇所	5	/	2	2	5	5	6	7	こども課	継続	施設の移行予定希望数に基づき設定する。	
4	保育所の待機児童数(10月1日現在)	H26	38	人	0	/	23	18	12	19	30	0	こども課	継続	国の目標値に基づき設定する。	

(注1) 保護者の就労等により日中保育を必要とする満3歳以上の児童の保育認定
 (注2) 保護者の就労等により日中保育を必要とする満3歳未満の児童の保育認定

施策3-3 生きがいを持って高齢期を過ごせる長寿のまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	シルバー人材登録者数	H26	449	人	600	/	448	423	386	387	376	571	高齢福祉課	継続	山形県シルバー人材センター連合会の目標値増加率による推計値に基づき設定する。	
2	老人クラブの加入者数	H26	1,804	人	2,100	/	1,582	1,602	1,452	1,272	1,213	1,600	高齢福祉課	継続	令和7年までに近年の最大値(平成28年実績値)を目指す。	
3	通所型・訪問型介護予防事業によるプログラムの参加者数(二次予防ばいき巻)	H26	226	人	265	/	147	132	/	/	/	/	高齢福祉課	指標の変更		
4	通所型・訪問型介護予防事業によるプログラムの参加者数(短期集中訪問・通所)	-	-	人	-	/	/	/	42	20	14	25	高齢福祉課	指標の変更	医療系・リハビリ系専門職を有するサービス事業所の受入可能見込み数に基づき設定する。	制度改正に伴い、二次予防事業(よねざわ元気塾)を廃止、短期集中型サービス(訪問型・通所型)の目標値に変更

施策3-4 誰もが自立を目指す環境の整備

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	就労支援による一般就労者数	H26	7	人	22	/	/	11	8	/	/	25	社会福祉課	継続	前期目標値を基に、上方修正を行う。	
2	障がいのある人への偏見や差別又は配慮のなさがあると思う市民の割合	H26	67.5	%	30.0	/	/	48.6	/	/	/	20.0	社会福祉課	継続	H28年度実績の半減を見込む(調査は3年に1回)。	
3	グループホームの利用者数	H26	97	人	105	/	117	134	142	147	152	180	社会福祉課	継続	令和元年度までの実績伸び率を基に設定する。	

施策3-5 身近な支え合いのあるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	社会福祉協議会が設置するボランティア登録者数	H26	1,089	人	1,150	/	1,004	1,481	1,770	1,601	1,374	1,600	社会福祉課	継続	H30年度実績程度を見込む。	
2	社会福祉協議会が設置するボランティア登録団体数	H26	68	団体	75	/	62	69	59	63	63	65	社会福祉課	継続	H30年度実績程度を見込む。	
3	福祉協力量員設置数	H26	1,776	人	1,820	/	1,967	1,900	1,900	1,847	/	=	社会福祉課	廃止		社会福祉協議会から町内会に選出依頼をしている形式的なものであり、施策に反映できるものではないため、指標から除外する。

施策3-6 適切な医療を受けられる環境の整備

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	開業医と市立病院の連携が図られている割合(紹介率)	H26	44.0	%	48.0		46.1	47.8	47.4	47.5		55.0以上	市立病院 地域医療 連携室	継続	地域医療支援病院要件に基づき設定する。	
1	開業医と市立病院の連携が図られている割合(逆紹介率)	H26	62.1	%	65.0		76.9	62.4	68.6	77.3		75.0以上	市立病院 地域医療 連携室	継続	地域医療支援病院要件に基づき設定する。	

施策3-7 社会保障制度の安定運営

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	国民健康保険税収納率	H26	92.26	%	93.76		92.25	93.55	94.14	94.55		94.60	納税課	継続	実績値に基づき設定する。	
2	後期高齢者医療保険料収納率	H26	99.53	%	99.65		99.34	99.43	99.41	99.63		99.70	納税課	継続	実績値に基づき設定する。	

後期基本計画成果指標等設定根拠

第4章 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり

施策4-1 快適で住みよい住環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値 (令和2年)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和7年 (2025)				
+	街区表示板取付総数	H26	2,151	箇所	2,600	/	2,151	2,151	2,151	2,151	-	-	市民課	廃止	/	街区表示について、当面は損傷対応を中心に取り組む方針であるため、総数を増加するという目標値を廃止する。
1	不良住宅・特定空家等除却促進事業における除却件数	H26	1	件	18 (H27～R2累計)	/	3	3	3	3	5	75 (R3～R7累計)	都市整備課	継続	非課税世帯のみであった補助金対象者を低所得者まで拡大したことにより、年間15件を見込む。 5(非課税世帯向) + 10(低所得者層向) = 15件/年間	後期基本計画から、指標名に、特定空家等を追加した。
2	空き家・空き地バンク登録数	-	-	件	-	/	-	-	-	12	25	75 (R3～R7累計)	都市整備課	新規	空き家対策計画の目標値(H30～R4)に基づき設定する。	/
3	空き家・空き地利活用支援事業の活用件数	R1	32	件	-	/	-	-	-	-	32	110 (R3～R7累計)	都市整備課	新規	年間22件程度の利活用を目指す。	/
4	創業支援等事業計画に基づく空き店舗利用者数	-	-	人	-	/	-	-	-	2 (単年度)	-	10 (R3～R7累計)	商工課	新規	H30実績を基に年間2件を見込む。	/

施策4-2 秩序ある土地利用と景観形成の推進

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	単位	前期目標値	(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(2) 指標変更・廃止の理由
					令和2年 (2020)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和7年 (2025)				
1	花と樹木におおわれたまちづくりモデル事業累積参加者数	H26	4,100	人	8,800	/	4,700	5,300	5,900	6,500	7,100	11,800	都市整備課	継続	前期目標値から、年間600人を見込む(植樹樹575箇所≒600人)	/
2	公共用地への樹木植栽累積本数	H26	1,074	本	1,320	/	1,139	1,189	1,298	1,400	1,470	1,960	都市整備課	継続	H28～30の実績に基づき年間約80本の増加を見込む。	/

施策 4-3 利便性の高い道路・交通網の整備

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	道路網の歩道延長	H26	99.12	km	100.66	/	99.13	99.91	99.82	99.90	99.90	100.87	土木課	継続	現在継続している道路改良に伴う歩道整備計画延長に基づき設定する。	
2	長寿命化対策を実施した橋梁数の割合	H26	2 (5/306)	%	15 (45/306)	/	2 (6/306)	3 (9/306)	7 (20/306)	11 (35/306)	15 (46/306)	19 (58/304)	土木課	継続	年間2橋の実施を見込む。 (令和2年度以後、橋梁数2減306→304)	
3	道路の改良延長(供用開始延長)	H22~26	3.84	km	2.34 (H27~R2)	/	1.02 (単年度)	0.75 (単年度)	0.82 (単年度)	0.06 (単年度)	0.17 (単年度)	1.22 (R3~R7)	土木課	継続	現在継続している道路改良事業の整備計画延長に基づき設定する。	
4	都市計画道路の整備状況	H25	39.6	%	41.4	40	39.9	40.1	52.2	52.5			都市整備課	廃止		前期目標値を達成していることに加え、目標年次までの整備延長予定がないため廃止する。
4	市街地循環バス(右回り線・左回り線)の平均乗車人数	H26	13.6	人/便	15.2	/	12.8	12.7	13.0	12.7		15.6	総合政策課	継続	一般財源の負担が0円(使用料等で運営可)となる値を基に設定する。	
5	市街地循環バス南回り線の平均乗車人数	H26	8.3	人/便	10.3	/	8.3	9.0	10.3	9.4		11.5	総合政策課	継続	経費に占める収入の割合が35%となる値を基に設定する。	

施策 4-4 安全な水の供給と水環境の保全の推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	主な河川の水質汚濁に係る環境基準達成率BOD	H26	100	%	100	/	100	100	100	100		100	環境生活課	継続	現状を維持する。	
2	下水道水洗化率	H26	85.2	%	88.3	/	85.5	86.1	87.4	88.2		88.4	業務課・下水道課	継続	今後の人口減少及び工事による下水道への接続件数を予測し設定する。	

施策 4-5 環境にやさしいまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	ごみの総排出量	H26	28,034	t	26,500	/	28,185	26,768	26,632	27,101		25,000	環境生活課	継続	第3期米沢市ごみ処理基本計画に定める目標値に基づき設定する。	
2	公害苦情件数	H26	199	件	150	/	154	106	90	84		75	環境生活課	継続	前期目標値から半減を見込む。	

後期基本計画成果指標等設定根拠

第5章 安全安心に暮らせるまちづくり

施策5-1 いざというときに備えるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	防災拠点としての公共施設の耐震化率	H26	92.0	%	100.0	/	79.5	83.3	92.9	93.5	96.4	100.0	環境生活課 都市整備課	継続	米沢市建築物耐震改修促進計画に基づき設定する。	
2	自主防災組織率	H26	54.2	%	70.0	/	62.1	62.6	63.4	63.4	68.7	100.0	環境生活課	継続	大規模災害に備え、各地区・町内会での「共助」を推進し、組織率を向上させる。	
3	消防団員の充足率	H26	93.2	%	100.0	/	93.6	93.2	92.1	92.3	89.9	100.0	環境生活課	継続	充足率100%を目指す。また、消防団組織見直しにおける条例定数等も見直しを図る。	

施策5-2 普段から安全を心がけるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	交通事故発生件数(人身)	H26	569	件	410	/	556	485	433	395	303	190	環境生活課	継続	H30実績を基準として、過去の事故減少率から年間10%の減を見込む。	
2	街頭犯罪の発生件数(米沢警察署管内)	H26	480	件	343	/	469	395	336	338	=	/	環境生活課	指標変更	過去5年間の減少率に基づき設定する。	指標名を県警本部公表の名称と統一
2	刑法犯認知件数(米沢市内)	H26	449	件	239	/	431	373	305	304	276	215	環境生活課	指標変更	令和2年度末まで2,500人養成、令和3年より毎年500人の養成を目指す。	消費者見守りサポーター養成人数の増加が市民への消費者教育の普及の指標として適当と考え、変更
3	特殊詐欺の被害件数(米沢警察署管内)	H26	6	件	3	/	3	4	6	4	=	/	環境生活課	指標変更		
3	消費者見守りサポーター養成人数	-	-	人	-	/	422	991	1,439	1,597	2,185	5,000	環境生活課 高齢福祉課	指標変更		

施策5-3 冬期も安全安心に暮らせるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	除排雪協会の組織数	H26	451	団体	480	/	458	470	473	476	477	495	土木課	継続	過去の実績から年間3団体の増を見込む。	
2	雪灯籠まつり観光客入込数	H26	158,500	人	170,000	/	174,000	185,000	224,000	234,000	162,000	274,000	観光課	継続	H30を基礎として、毎年度2.5%の増加を見込む。	

後期基本計画成果指標等設定根拠

第6章 持続可能なまちづくり（協働・行政経営）

施策6-1 とともに協力し合い、行動するまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由	
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					令和7年(2025)
1	審議会等の公募委員の割合	H21～25	8.8 (H21～25平均)	%	10.0 (H28～R2平均)	12.8	4.4	8.2	7.6	6.1		10.0 (R3～7平均)	総務課	継続	米沢市附属機関の委員の公募に関する規定に基づき設定する。	
2	市ホームページへの閲覧件数	H26	4,482,622	件	4,620,000		5,168,313	4,784,934	4,487,884	6,057,229	8,092,104	5,500,000	総合政策課	継続	H26年度からH30年度の平均値に、H26年度から本平均値の増加率を乗じたものを後期の目標値とした。	
3	協働提案制度による提案数	-	-	件	-	6	8	8	9	5	5	36 (令和3年～7年累積)	総合政策課	新規	R6単年度目標8件に向け増増(6+7+8+8+8=36) 8件=6.8(H26～R1平均)×1.2倍	

施策6-2 男女共同参画の推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由	
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					令和7年(2025)
1	審議会・委員会の女性登用率	H26	26.6	%	30.0		25.9	25.3	24.9	25.8		35.0	総合政策課	継続	第2次米沢市男女共同参画基本計画に基づき設定する。	

施策6-3 健全な行政経営の推進

No	成果指標名	前期計画			(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由	
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					令和7年(2025)
1	ふるさと応援寄附金の寄附額	H26	44,720	千円	400,000(4億)		1,958,247	3,530,753	1,769,196	555,875		600,000	米沢ブランド戦略課	継続	国の指導に基づき返礼品等の見直しを行った平成30年度の実績を基に設定する。	
2	経常収支比率	H26	98.1	%	95%以下		99.1	92.4	92.1	94.2			財政課	指標変更	平成31年2月に公表した今後10年間の財政見通しでは、市庁舎建替事業の現庁舎解体費や市立病院建設事業の医療機器整備に対する返済などは返済期間が短いため、当該年度の市税収入等では負担が大きく、実質単年度収支が連続してマイナスになると見込んでいるが、比較的財政運営に余裕のあった平成30年度までに財政調整基金や公共施設等整備基金に計画的な積み立てを行い、今後は、その積立額を取り崩すことで財源を確保し、後年度負担の軽減を図ることとしている。そのため、中長期的な財源調整機能を確保し、安定した財政運営を目指すため、年度間の財源調整分として約10億円の財政調整基金の残高を確保することを目標とする。	
2	財政調整基金残高	H30	18	億円	-		-	-	-	32		10億円以上	財政課	指標変更		

策6-4 他自治体との広域連携の強化

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	置賜地域移住交流推進協会と連携した移住希望者に対するセミナー開催数	H26	-	回	2	/	-	2	2	1	2	3	総合政策課	継続	置賜地域でのセミナー（置賜暮らしワークショップ）をこの間で1回増やす。	/

施策6-5 様々な情報とつながる環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	市への電子申請が可能な手続の数	H26	7	件	14	/	7	7	8	10	13	19	総合政策課	継続	過去の実績値に追加可能な手続き数を追加	/